

3月11日のしょくいくメモ



東日本大震災から5年。

平成23年3月11日にマグニチュード9.0、最大震度7の地震が起き、高さが10m以上の巨大な津波が発生しました。

6年生が1年生の時のことです。覚えていますか？

被害をうけたところはどこ？

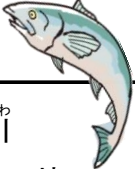
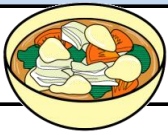
東北地方の中でも、岩手県、宮城県、福島県で大きな被害を受けました。亡くなった方、行方不明の方が18,466人もいます。たくさんの家や学校、道路、漁港、農地などが津波によって流されました。

今はどうしているの？

今も約18万人の方が避難生活を送っています。

住宅や漁業、農業など元通りにはまだ遠く、これからも復興をすすめていくことが必要です。

今日は、被災地の郷土料理を食べます。

【鮭ごはん】	【笹かまぼこの南部揚げ】	【ひつまみ】
 福島県浪江町の泉田川は鮭漁が盛んで、「鮭まつり」も開催されていました。 ※現在は、原発事故の影響により浪江町への立ち入りが禁止されています。	 笹かまぼこは宮城県の名産です。港町にあった工場は被害を受けましたが「笹かまぼこの文化を絶やさない」と生産者の皆さんが努力して復興に繋がりました。	 岩手県の郷土料理です。小麦粉をこねて薄く伸ばしたものを手でちぎり、煮込む料理です。「手で引きちぎる」ことを方言で「ひつまむ」ということから名づけられました。

復興支援、防災の準備など、私たちにできることを考えてみましょう。